資料1−1

令和７年５月２６日

第2回

「臼杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)」に係る地域説明会

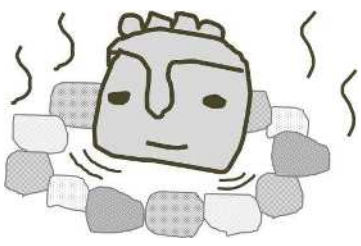
～ これからの社会をしなやかに生き抜く
臼杵っこを育成する学校づくりに向けて ～

2月に行われた「第1回地域説明会」
及び「学校ごとの保護者との協議」
を行った後の修正案です

臼杵市教育委員会

本日の次第

1　開会
2　教育長あいさつ
3　職員紹介
4　内容説明
　(1)これまでの地域説明会 及び 保護者との協議
　(2)基本計画案の修正
5　質疑応答
6　終わりのあいさつ
7　閉会



＜臼杵市教育委員会基本方針＞

臼杵の未来をたくましく拓き、
超スマート社会をしなやかに生き抜く、臼杵っこの育成

先ず、1回目の説明会のふりかえりです

「3つのきょう育（郷育・協育・響育）＋今日育」を土台とした教育

『郷育』	『協育』	『響育』
郷土（ふるさと）を活用して進める教育	学校・家庭・地域が協力して進める教育	皆の思い・願い・心を響き合わせて進める教育

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して　【令和3年1月26日に中央教育審議会答申】

『個別最適な学び』		『協働的な学び』
指導方法や指導体制の工夫改善やICTの活用により、「個に応じた指導」の充実を図る。	一体的に充実	子ども同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、議論できる場の設定を大切にする。

正解のない課題に対し、議論を重ね、自分の考えと他者の考えをよりよく擦り合わせながら合意形成できる力の育成が重要

適正な規模の基準（臼杵市の基準）

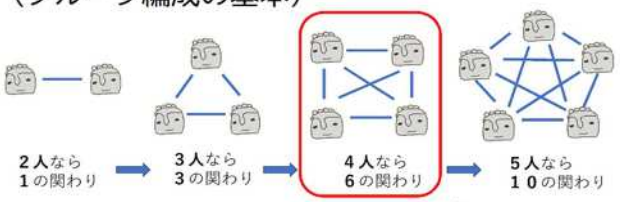
【学級数を基準とした適正規模の定義】

臼杵市	【小学校】複式学級の解消を図る（1学年1学級以上） 【中学校】小学校を準用 ※標準学級数において、小中学校ともに1学年1学級以上を原則とする。 ※この基準の数には、特別支援学級の数は含めない。

【児童数の基準】

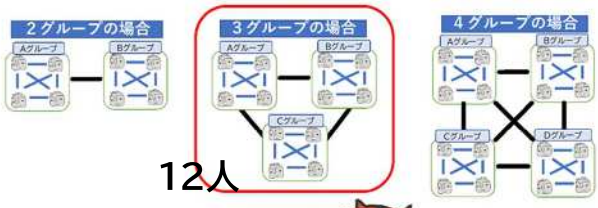
基　準	児童数の目安（1校あたり）	根拠となるグループ数（1学年あたり）
【適正規模】	全校で72名以上	3グループ以上（1学年あたり12名以上）
【小規模】	全校で48～71名程度	2～3グループ（1学年あたり8～11名程度）
【過小規模】	全校で47名以下	1～2グループ程度（1学年あたり0～7名程度）

『協働的な学び』のための人数について①
（グループ編成の基本）



一人一人が考えを出し合い、それを交流するには、4人～5人程度のグループ編成が適正な人数と考えます。

『協働的な学び』のための人数について②
（グループごとの学び合い）

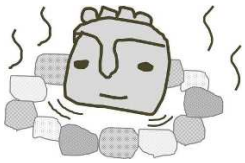


12人

グループごとの考えを交流することで、更に多様な考えに触れ、自分の考えを深めていきます。その為には、3グループ以上は必要だと考えます。

これまでの地域説明会及び保護者との協議について

①第1回地域説明会について

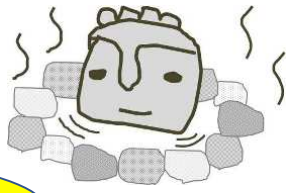


日　時：令和7年2月17日(月)～26日(水)18時30分～
場　所：対象校区(全7会場)
内　容：公立学校のあり方に関する基本計画(案)の内容説明、意見交換等

対象校区	日　時	場　　所	参加数
野津小学校区	2月17日(月)	野津中央公民館	51人
南野津小学校区	2月18日(火)	南野津地区公民館	45人
川登小学校区	2月19日(水)	川登地区コミュニティセンター	50人
佐志生小学校区	2月20日(木)	佐志生地区農村環境改善センター	32人
下ノ江小学校区	2月21日(金)	下ノ江地区コミュニティセンター	56人
上北小学校区	2月25日(火)	上北地区コミュニティセンター	51人
下北小学校区	2月26日(水)	下北地区コミュニティセンター	62人

これまでの地域説明会及び保護者との協議について

②保護者との協議について



地域説明会の後、希望する学校に
保護者との意見交換を行いました

対象校	日　時	参加者数
南野津小学校	3月　5日(水)18:30～	19人
	4月14日(月)19:00～	12人
川登小学校	3月12日(水)18:30～	11人
佐志生小学校	3月13日(木)18:30～	8人
	4月25日(金)14:30～	11人
上北小学校	4月　7日(月)18:30～	14人
下ノ江小学校	4月17日(木)19:00～	9人

地域説明会（北ブロック）での基本計画案の修正に係る主な意見

・急な話であり戸惑っている。統合することに不安を覚える。
・地域に学校は必要である。学校がなくなると寂しい。
・小規模校であることからこの学校を選んでいる。
・田んぼ活動など地域の学校ならではの活動がある。
・小規模校でしかできない経験もあり、適正な教育環境（個別最適な学び、協働的な学び）はできている。
・複式学級でも困りはない。

・学校がなくなるのは寂しいし、**基本的には統合反対**だが、今後の児童数の推移からみても、適正な教育環境（個別最適な学び・協働的な学び）を理解し、統合はやむを得ないと考える。
・統合先の学校については、少人数の学校からなので、児童が馴染みやすいよう、大人数の下北小学校より**小人数の海辺小学校を希望**する。
・下北小学校に通学したい場合、認めてほしい。

地域説明会（野津ブロック）での基本計画案の修正に係る主な意見

・急な話であり戸惑っている。統合することに不安を覚える。
・学校がなくなると寂しい。今の小学校で卒業させたい。
・小規模校であることからこの学校を選んでいる。
・複式学級でも困りはない。
・小規模校でしかできない経験もあり、適正な教育環境（個別最適な学び、協働的な学び）はできている。
・現在の小学校の継承授業（紙漉き（卒業証書）、風連鍾乳洞ガイド、ひまわりフェスタ等）を学ばせたい。

・学校がなくなるのは寂しいし、**残せるものなら残していきたい**が、今後の児童数の推移からみても、適正な教育環境（個別最適な学び・協働的な学び）を理解し、統合はやむを得ないと考える。
・統合時期については、令和８年度ではなく、児童の交流や閉校準備等にじっくり取り組めるよう**令和９年度を希望する**。

提言を受けた適正化配置計画(当初案)

『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実させるため、複式学級を解消し、学校規模の適正化を進めます。
小学校と中学校が一体となって子どもに付けたい資質・能力を共有します。

北ブロック

北中

小・中連携

佐志生小　下ノ江小　上北小　下北小

新たな学校として**令和9年度**からスタート
校舎は下北小を使用

小・小連携

海辺小

1回目の地域説明会で示した案です

野津ブロック

野津中

小・中連携

川登小　南野津小　野津小

新たな学校として令和8年度からスタート
校舎は野津小を使用

適正化配置基本計画(修正案)

うかがった意見をもとに修正しました

北ブロック

北中

小・中連携

小・小連携

上北小

適正配置対象校ではあるが統合は延期する。

下北小

佐志生小・下ノ江小校区から通学したい場合は柔軟に対応。

佐志生小　下ノ江小　海辺小

令和9年度の統合に向け
令和7年度から個別計画の策定に着手します。
校舎は海辺小を使用予定とします。

野津ブロック

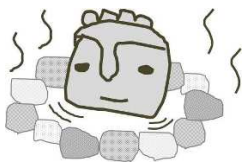
野津中

小・中連携

川登小　南野津小　野津小

令和9年度の統合に向け令和7年度から個別計画の策定に着手します。
校舎は野津小を使用予定とします。

第2回地域説明会等の開催について

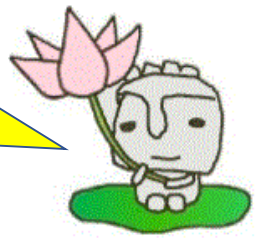


○伺った意見をもとに修正した基本計画(案)の説明

校区等	日　時	場　所	参加数
海辺区長会役員	4月　2日(水)14:00~	海辺地区コミュニティセンター	5人
海辺小保護者三役	4月15日(火)18:30~	海辺小学校	3人
南野津小校区	4月24日(木)18:30~	南野津小体育館	24人
川登小校区	4月25日(金)18:30~	川登地区コミュニティセンター	21人
野津小校区	4月28日(月)18:30~	野津中央公民館	29人
佐志生小校区	4月30日(水)18:30~	佐志生地区農村環境改善センター	27人
下ノ江小校区	5月　1日(木)18:30~	下ノ江地区コミュニティセンター	37人
上北小校区	5月　7日(水)18:30~	上北地区コミュニティセンター	34人
海辺区長会	5月19日(月)19:00~	海辺地区コミュニティセンター	13人
海辺小保護者	5月20日(火)19:00~	海辺小学校	22人
下北小校区	5月26日(月)18:30~	下北地区コミュニティセンター	人
海辺小校区(予定)	6月11日(水)18:30~	海辺小学校	人

今後の公立学校のあり方に関する展望

「公立学校のあり方検討委員会」において、
継続して以下の検討を進めます。



○引き続き、過小規模校の**複式学級の解消**に務めます。

○**小中一貫校の設置**について、具体的な検討に着手します。

○**学校運営協議会（コミュニティスクール）のあり方**を具体的に検討します。

＜参考＞

令和7年度以降児童数(1年生) ← → 令和7年度児童生徒数

	学校名	R７以降児童数（下記日付の住民基本台帳による）							学校名	R７児童生徒数							
		総数	2031年度1年生	2030年度1年生	2029年度1年生	2028年度1年生	2027年度1年生	2026年度1年生		規模	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
北	佐志生小	10	2	0	2	1	3	2	佐志生小	過小規模	17	6	2	2	2	1	4
	下ノ江小	13	1	1	3	1	2	5	下ノ江小	過小規模	29	3	4	3	2	7	10
	海辺小	47	11	6	4	7	12	7	海辺小	小規模	56	10	6	12	9	10	9
	下北小	117	16	11	29	15	22	24	下北小	適正規模	171	28	29	26	37	18	33
	上北小	27	2	2	7	6	7	3	上北小	過小規模	26	6	3	6	3	3	5
西	下南小	83	4	15	17	12	14	21	下南小	適正規模	132	17	26	25	17	27	20
	市浜小	332	62	60	49	60	45	56	市浜小	適正規模	386	57	58	66	60	66	79
西と東	福良ヶ丘小	93	16	14	16	16	15	16	福良ヶ丘小	適正規模	92	14	17	17	15	15	14
東	臼杵小	106	12	20	14	22	18	20	臼杵小	適正規模	182	20	23	33	31	33	42
野津	川登小	1	0	1	0	0	0	0	川登小	過小規模	17	1	2	3	4	4	3
	野津小	90	4	13	15	17	22	19	野津小	適正規模	149	21	17	28	23	30	30
	南野津小	16	2	5	1	3	2	3	南野津小	過小規模	30	2	4	6	6	7	5
南	臼杵南小	27	5	1	5	6	4	6	臼杵南小	小規模	53	7	8	5	13	12	8
	小学校　計	962	137	149	162	166	166	182	小学校　計		1,340	192	199	232	222	233	262
	北中	-	-	-	-	-	-	-	北中	適正規模	189	49	68	72	-	-	-
	南中	-	-	-	-	-	-	-	南中	小規模	37	12	13	12	-	-	-
	西中	-	-	-	-	-	-	-	西中	適正規模	324	112	91	121	-	-	-
	東中	-	-	-	-	-	-	-	東中	適正規模	141	55	41	45	-	-	-
	野津中	-	-	-	-	-	-	-	野津中	適正規模	135	46	39	50	-	-	-
	中学校　計	-	-	-	-	-	-	-	中学校　計	-	826	274	252	300	-	-	-
	全体　計	-	-	-	-	-	-	-	全体　計	-	2,166	-	-	-	-	-	-

（R7.4.10時点）

※児童生徒数は学校基本調査より。特別支援学級在籍の児童生徒を含む。

※２０２６年度以降の１年生の人数は、令和７年４月８日時点の住民基本台帳によるため今後変動する場合があります。